

ヒシカネカ印手鉤資料

手鉤の種類がわからないときは、爪の大きさと、輪部分の大きさなどで調べてください。
商品サイズは、木柄部分の長さが基本です。ステンレスシーフックの場合は、以前からある手鉤に合わせたサイズになります。

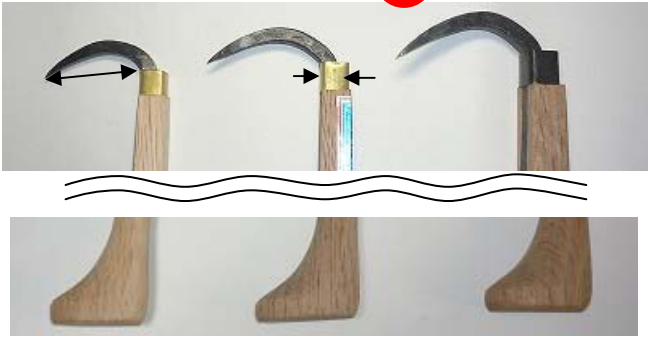
ステンレス手鉤
sus爪唐津型鯨鉤
爪70mm
ステンレスシーフック
実用新案特許
No.2790498
木柄
ゴム柄
爪60mm



品名	爪	輪	品名	爪	輪
地長	48mm	14.3φ	地長爪長	66mm	14.3φ
横浜	57mm	15.9φ	唐津型鯨鉤	70mm	16φ

使用中にガタついたり、抜けたりする心配はいりません。

魚鉤 小・中



品名	爪	輪
魚鉤 小	50mm	12mm角
魚鉤 中	56mm	15mm角
魚鉤 大	62mm	16mm角

ノコ



弊社のノコは、柄の長さに応じて使いやすいように爪の長さや角度も変えて製造しています。

袋鉤



三本・二本爪袋鉤 東神型助力袋鉤長柄は、横浜鉤の柄とほぼ同じ

手鉤握り部分

一般握り

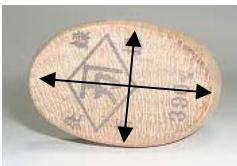
地長爪長握り

唐津型鯨鉤握り

鯨鉤 鯨鉤長輪

箱鉤

箱鉤長輪



底面	
縦	横
58mm	37mm



65mm



75mm



80mm

地長・横浜・鯨鉤・箱鉤・氷鉤・マグロ鉤・綿鉤・袋鉤等は通常握りです。握り部分はほぼ同じ大きさですが、竿は爪・輪に合わせた太さになります。

氷鉤

マグロ鉤

綿鉤



品名	爪	輪	輪長
氷鉤	90mm	19φ	18mm
マグロ鉤(大)	100mm	18×22φ	60mm
綿鉤	100mm	25.5φ	24mm

手鉤の名称は、使用対象物の形状大きさが、地方によって異なる為、手鉤の形状大きさも、自然違ったものを要求されどの地方からきた注文であるか、吾等業者の先輩が、その地名又は対象物の名をとってそのまま、手鉤の名称とした。例 横浜鉤、唐津鉤、鯨

手鉤(てかぎ)は、木製の柄(主に桎)の先に金属のかぎが付いた道具で、荷物や大きな魚などを運搬するときに、引っかけて使うものです。明治から昭和初期にかけて、船舶からの運搬作業が機械化される以前には、荷物の運搬、量や重さの計測、分類などの荷役作業は、手鉤などの道具を使って人力で行われていました。手鉤類は主に、穀物類が入った袋物の荷役作業に使用
現在は、漁業や水産関係・水産物卸売市場などで主に使われています。
伝統の倭鍛冶職人の技術を受け継ぎ、「ヒシカネカ」マークの“兵庫手鉤”を製造しています。

☆手鉤は種類サイズが多く、小ロットの商品ですので、在庫を持つのが不可能になっています。
一部商品を除き、1箱単位での受注生産になります。
この資料以外の商品も製造していますので、ご相談ください。

販売終了

販売元

<http://www.miki-japan.com/>

みきかじや村

玉島産業株式会社 みきかじや村事業部
〒673-0404 兵庫県三木市大村58-14
TEL 0794-83-1123 FAX 0794-83-2273

製造元



株式会社 金口製作所